

理事長
佐々木 修治

当院は、**24時間365日対応の「機能強化型在宅療養支援診療所」**です。どんな状態でも自宅や住み慣れた場所で過ごすことができる地域を作るために頑張っています。

チーム医療で患者さんをご家族を支え、気になることや心配なことは一緒に考えますので、ご安心下さい。

7つの特徴

- 01 **常勤4名・非常勤5名の医師が在籍**
＊充実した体制で、安心をお届けします
- 02 **初診対応スピード最短60分**
＊患者さんに合わせて柔軟に対応します
- 03 **麻薬の持続点滴導入まで最短120分**
＊がん、心不全、呼吸不全の急激な変化に即時対応いたします
- 04 **往診依頼への対応率100%**
＊夜や休日でも体調に変化があった時には迅速にご自宅へお伺いいたします
- 05 **自宅・施設での療養率97%**
＊訪問診療を開始後、住み慣れた場所で長く生活することができます
- 06 **がん・神経難病の心と身体を診る訪問診療**
＊ご本人とご家族の不安に寄り添い、「自宅で長く過ごす」を支えます
- 07 **独居・老々介護・認々介護もフルサポート**
＊訪問看護師、ケアマネージャー、その他関係職種が顔が見える関係で支えます

訪問エリア

- ＊米子市、日吉津村全域
- ＊境港市、安来市の訪問可能エリア
(令和7年7月現在)

※詳しくはご相談下さい

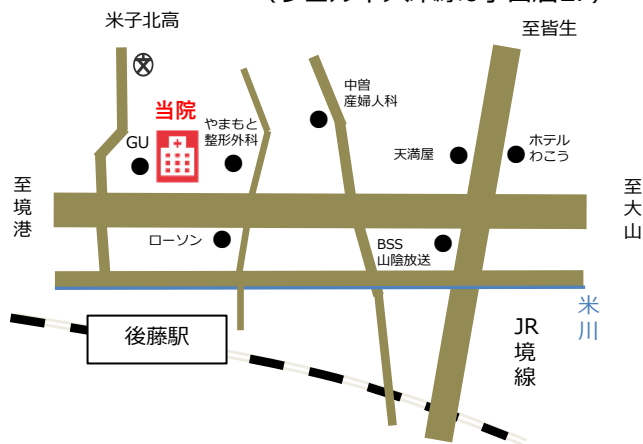
お問い合わせ

医療法人 寛謙会
在宅ケアクリニック米子

代表電話 0859-36-8722

相談窓口 直通 080-4441-7222

☎683-0804
鳥取県米子市米原6丁目6番6号
(ウェルネス米原6丁目店2F)



診療時間

9:00~12:00 / 14:00~17:00
平日：月～金（休診日：土日祝）
※定期訪問の方には時間外でも対応します

住み慣れたご自宅で
ずっと過ごしたいとお考えの方のために

訪問診療のご案内



次のような方へ訪問しています

- 歩行が困難で一人で通院できない方
- 脳卒中後遺症等により体が不自由な方
- がんで自宅での緩和ケアを希望される方
- 自宅での看取りを希望されている方
- 神経難病や認知症で通院が困難な方
- 褥瘡、胃瘻などの処置、管理をご自宅で希望される方 など

「住み慣れた場所で、安心して生活したい」



「訪問診療」とは、さまざまな理由から通院できない方を対象に、医師がその方のご自宅や施設に訪問して治療することをいいます。ご自宅の療養生活を支える体制として、急に生じる体調の変化に応じた治療を行う「往診」と、定期的に訪問し症状だけでなく、精神面などを含めケアを交えた「訪問診療」を提供します。

ご利用開始までの流れ

STEP.1 お問い合わせ

080-4441-7222 へお電話下さい。

STEP.2 状況確認

現在までの経過等をお尋ねします。

STEP.3 訪問体制の決定

院内で検討し、ケアマネージャー、訪問看護、病院と連携を取り、今後の療養支援計画を決定します。

そんな患者さん・ご家族の
自宅療養をサポートするのが
訪問診療の役割です。

次のような医療処置に対応できます

- がん末期の疼痛コントロール
- 褥瘡の処置 ●点滴・注射 ●各種検査
- 在宅酸素療法 ●人工呼吸管理
- 疼痛・麻薬・PCAポンプ管理
- 膀胱留置バルーン・膀胱瘻・自己導尿
- 在宅成分栄養経管栄養法（経鼻・胃瘻・腸瘻）など

※上記以外の処置もご相談ください。

費用について

<例> 定期的な訪問を月2回行った場合

訪問先	診療費用 (1割負担の場合)
ご自宅	約7,000円
ご自宅以外（施設等） ※訪問人数によって異なる	約4,000円

※注射・検査等を行った場合、また医療行為によっては指導料や管理料が加算される場合があります。

※お薬代は含みません。

※要介護認定を受けた方は、別途、居宅療養管理指導費がかかります（約300～600円）

詳しくは、お問い合わせ下さい。



よくあるご質問

Q1 診療はどのくらいの回数でしょうか？

通常は月2回ご自宅への訪問となります。患者様の状態に応じて訪問診療計画を立て、必要に応じて診療回数を調整します。

Q2 どこに頼めばいいのでしょうか？

かかりつけ医やお住いのケアマネージャーにご相談ください。（※ケアマネージャーがいない場合は、お住いの地域にある「地域包括支援センター」にご相談ください）
直接当院へのお電話でもご相談に対応します。

Q3 老人ホームなどの施設にも訪問診療をしてもらえるのでしょうか？

老人ホーム、高齢者住宅にも訪問診療に伺っています。

Q4 今通院している病院は、どうしたらいいのでしょうか？

訪問診療と通院している病院の治療を続けながら、ご自宅での療養生活を送ることが出来ます。

Q5 入院が必要になったらどうすればいいのでしょうか？

緊急時には当院の後方支援病院への入院を手配します。既にかかりつけ病院がある場合には、その病院の地域連携室と連絡を取り入院調整します。

Q6 終末期はどのような対応ができますか？

病院と変わらない処置をすることができます。痛みや症状を和らげることを最優先にしています。